

【テーマ 8】運営手法の検討

お魚センターみくりやは、現在、鳥取県漁業協同組合が指定管理者となり施設管理と運営を行っています。新たな海の観光拠点の管理運営計画は、描いた観光拠点を持続的に運営していくために、また導入する設備や提供するアクティビティの検討をする上でも、運営手法を想定しながら整備内容を検討する必要があります。

このテーマでは、海の観光拠点を整備した後に考えられる運営面での課題などを共有し、今後の運営手法も併せて検討をしておくことが必要です。

※指定管理制度：公の施設をノウハウのある民間事業者が管理してもらう制度のこと。民間事業者が蓄積したノウハウを活用することで経費の縮減や利用者ニーズに応える質の高いサービスの提供が期待できる。

(施設の視点)

- ・ 拠点で受け入れが可能な利用人数と駐車場のバランス
- ・ 駐車場のバス・普通車の区分、車止めの設置、タクシー対応（かろいち参考）
- ・ 施設内のフリースペース（ベンチなどの飲食可能な休憩場所）
- ・ バリアフリー、ユニバーサルデザインでの対応（備品や設備など）

(収支の視点)

- ・ 観光利用者と地元利用者との価格設定のバランス
- ・ セルフサービスの検討
- ・ クーポンの活用検討（現在はスタンプカード）

(雇用の視点)

- ・ 飲食サービスの調理員（調理師確保）の担い手問題
- ・ パート従業員の確保の問題

(運営者の視点)

- ・ 飲食、物販、アクティビティなどの複合したサービスを提供できる事業者の有無
- ・ 施設管理、清掃業者の専門業者の導入
- ・ ホームページ、SNS（インスタグラムなど）活用による販売促進